

きっと家族の
命をつなぐ。
きっとその時
役に立つ。

No.
08

線状降水帯の発生や大型台風の影響で、
猛烈な豪雨による被害が増加しています。
なかでも線状降水帯は予測が難しいとさ
れ、警報が間に合わないケースがあります。
発生すれば予報よりもはるかに多く、速い
スピードで雨が降ることもあるため、被害
を免れる確実性を上げるには「あらかじめ
逃げる」選択肢を持ちましょう。

線状降水帯発生のある場合、半
日ほど前から天気予報などで情報が出ま
す。本来は避難を呼びかける情報ではあり
ませんが、その時点ですでに激しい雨が続
いているなど、不安を感じたら早めの避難
に踏み切ることも大切です。特にハザード

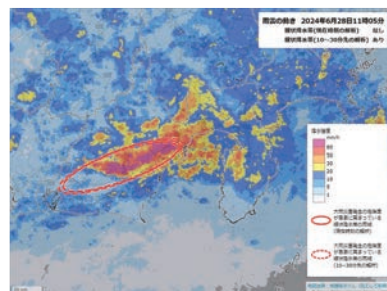


▲平成30年7月豪雨
広島県安芸郡熊野町の被害



▲令和2年7月豪雨
熊本県人吉市の被害

豪雨には
“あらかじめ逃げる”
選択肢を！



▲静岡県で発生した線状降水帯
(令和6年6月28日) 気象庁ホームページより

マップ上で自宅付近に洪水や土砂崩れのリ
スクがある場合は、早めの避難が命を守る
ことにつながります。車に必要な防災グ
ズを常備しておくなど、すぐに出発しやすい
態勢を整えておくことと落ち着いて避難の判断
をしやすいでしょう。

そもそも日本は水害リスクが高い国です。
海や河川の水位より低い土地に形成され
ている都市が多く、平成24年～令和3年の
10年間では約98%の市町村で水害・土砂
災害が発生しています*。

豪雨による河川の氾濫や洪水などの被害
を報道で見た方も多いと思います。豪雨の
際は自分の街でも「大きな被害が出るかも
しれない」という危機感を持ち、自分と家
族の命を第一に行動しましょう。

※出典：国土交通省「2024 河川事業概要Ⅰ 我が国の
水害リスクの現状」
https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/gaiyou/panf/pdf/2024/kasengaiyou2024_all.pdf

ママのための
防災ヒント

大雨の被害から
子どもを守るには？



大雨によって地盤が緩むと、その影響で水道管が破損してしまうことがあります。清潔な水道水を使用できなくなるため、赤ちゃんのいる家庭ではミルクとして使える分も含めて、ペットボトルの水を多めに備蓄しておきましょう。また幼児や小学生の子どもがいる家庭では、大雨の予報が出ている日には、ハザードマップでリスクのあるエリアへは遊びに行かせないようにして、事前にリスクを回避するなどの工夫をしましょう。日頃からハザードマップをもとに、近隣で土砂崩れの危険性がある地域を家族で確認しておくことも大切です。

豪雨・浸水のキホンを知ろう!



降雨量や浸水深は、どのくらいの値でどのような被害となるかを把握していると、より効果的な対策が可能です。

豪雨と浸水のキホンを押さえ、備えにつなげていきましょう!

1時間に30mm以上の雨量は事故・災害に要警戒

1時間あたりの雨量が30mm以上になると道路が川のようになっていく、特に車の運転ではブレーキが効きづらくなっていきます。50mm以上では傘が役に立たないほど猛烈になり、車の運転は危険。ナテックのある愛知県は2000年に東海豪雨を経験しましたが、当時は1時間に97mmの雨量を記録し、甚大な被害が出ました。



▲名古屋市西区あし原町



▲西枇杷島町

出典:国土交通省「東海豪雨15年 災害の記憶を未来へ」フォトギャラリー

1時間雨量(mm)	人の受けるイメージ	屋外の様子
10以上～20未満	ザーザーと降る	地面一面に水たまりができる
20以上～30未満	土砂降り	
30以上～50未満	バケツをひっくり返したように降る	道路が川のようになる
50以上～80未満	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
80以上～	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	

気象庁「雨の強さと降り方」(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo_hp/amehyo.html)をもとに作成

浸水の高さと被害をイメージしよう

50cm未満が床下、50cm以上で床上浸水が目安です。70cm程度の浸水でコンセントが浸水するため停電につながります。また車は、車種によっても異なりますが、一般的に10cmの水深でブレーキ性能が落ち、30cmに達すると、水圧の影響でドアを開けることが非常に困難になるなどの影響が出ます。大雨の際はアンダーパスの通行を避けるのは当然ですが、脱出ハンマーの常備も忘れずに。



すぐに持ち出せる防災リュックを

有事の際は速やかに避難できるよう、必要な荷物はまとめておきましょう。ナテックの「水害対応セット」なら、水害の避難時・避難先で必要なものがそろっています。通常の防災セット(1人用・2人用)にもレインコートは入っており、水害時も役立つアイテムを盛り込みました。



▲防災セット(1人用)



▲水害対応セット

"サステナ防災"に
取り組んでいます!

ナテックは土に還る素材のホイッスルや使い捨て食器など、環境に配慮した素材で製品をつくっています。誰もが備える必要があるからこそ、防災グッズもサステナブルに!



▲ECサイト

お問い合わせはkit編集部まで!

住所 〒490-1205 愛知県あま市花正寺浦55番地

TEL 052-449-6222

MAIL natec-emergency@natec01.co.jp

kit No.08

発行者 株式会社ナテック